

令和4年度 伊根町災害ボランティアセンター運営委員及び職員研修会

日時：令和5年1月12日

午後1時30分～3時

参加者：災害ボランティアセンター運営委員7名

社協職員5名

京都府災害ボランティアセンター 事務局 東 直美氏

1. 開会挨拶

災害ボランティアセンター運営委員会 一井会長

皆さんにお出会うのは、今年初めてでございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

本日はお寒い中、ご参加いただき誠にありがとうございます。年末年始のコロナ感染者の増加やインフルエンザの流行も聞こえてくる中で、感染予防対策を行いながら、今回は「防災すごろくを使って、災害時の対応について」学ぶため、運営委員及び職員も含めた研修会を開催させていただきました。

今月の1月17日は、阪神淡路大震災から28年目であり、災害に向けた備えの一つとしてこの研修会を開催することが大切なことと思っております。また、遠路より京都府災害ボランティアセンター事務局の東直美様には、講師としてご足労頂きありがとうございます。本日の研修会が防災対策の一つとして有意義に終わることを祈念申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。皆さんよろしくお願い申し上げます。

2. 研修会 防災すごろく“助け合って Go!”

講師：京都府災害ボランティアセンター 東 直美氏

今回は3グループに分かれて、防災すごろくゲームを行いました。





【参加した感想】

- ・災害時に思い描くのが深掘過ぎてクイズで失敗することがあった。
- ・ゲーム感覚で取組んだが、災害に対する考えが変わった。
- ・防災担当者として平常時から考えておかなければならないことが分かりました。
- ・スマホのLINEアプリが出来たのは東日本大震災がきっかけとは初めて知った。
- ・すごろくゲームなので、年齢は関係なく防災について勉強が出来、他のサロンや児童生徒への防災啓発に使えると思いました。
- ・公衆電話の使い方がわからない世代がいることも知ることが出来た。

3. 閉会